



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 市光工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7244 URL http://www.ichikoh.com/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) ヴィラット クリストフ  
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画室長 (氏名) 高森 正樹 (TEL) 0463-96-1442  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	110,239	12.0	4,965	95.3	5,187	59.2	5,479	147.4
2022年12月期第3四半期	98,457	5.8	2,543	△45.4	3,258	△42.0	2,214	△42.8

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 7,557百万円(61.5%) 2022年12月期第3四半期 4,679百万円(△11.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	56.99	—
2022年12月期第3四半期	23.04	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	127,080	61,624	47.9
2022年12月期	125,915	55,007	43.2

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 60,855百万円 2022年12月期 54,334百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	4.50	—	4.50	9.00
2023年12月期	—	5.50	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,500	5.9	6,400	62.5	7,200	34.5	7,000	58.2	72.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 市光 (無錫) 汽車零部  
件有限公司

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年12月期3Q	96,334,226株	2022年12月期	96,292,401株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	180,858株	2022年12月期	179,414株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年12月期3Q	96,137,656株	2022年12月期3Q	96,114,965株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
(企業結合等関係) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ見直し後の個人消費の持ち直しのほか、設備投資やインバウンド需要の増加などにより、景気は緩やかに回復しました。一方で、円安や資源価格の高騰などによるインフレや、世界的な金融引締めによる海外景気の下振れが、国内景気を下押しするリスクが懸念される状況が継続しました。

米国は、個人消費は堅調に推移していることに加え、インフレ率も低下してきており、景気は持ち直しました。中国は、不動産市場の悪化などから経済回復は息切れが見られましたが、7月下旬に打ち出された消費喚起策から個人消費は回復傾向となりました。アセアンでは、インドネシアはインバウンド需要の回復や消費マインドの改善などから、内需主導の景気回復が継続しました。マレーシアとタイはインバウンド需要や民間消費による内需回復が続く一方で、外需の低迷により輸出が低調で景気回復ペースは減速傾向となりました。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は、主力の日本国内では自動車生産市場並みの増収率、アセアンでは自動車生産市場を上回る増収率を確保しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間では、2023年8月1日付けにて、ミラー事業をSMRグループへ売却しており、ミラー事業の売上高が減少いたしました。その影響を打ち返して増収を確保し、売上高は110,239百万円(前年同期比12.0%増)となりました。利益面については、増収による影響や、原材料費等の価格高騰分の転嫁が進展した影響などから、営業利益は4,965百万円(前年同期比95.3%増)、経常利益は5,187百万円(前年同期比59.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、伊勢原製造所の土地の一部売却などに伴う固定資産処分益3,971百万円等を計上した影響などから、5,479百万円(前年同期比147.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 自動車部品事業

自動車部品事業におきましては、売上高は、ミラー事業の譲渡による減収影響を打ち返し、主力の日本国内では自動車生産市場並みの増収率、アセアンでは自動車生産市場を上回る増収率となり、104,463百万円(前年同期比12.1%増)、営業利益は、4,767百万円(前年同期比107.9%増)となりました。

## ② 用品事業

用品事業におきましては、カー用品店向けの販売に加えディーラーオプション向けの販売も堅調に推移したことなどから、売上高は7,051百万円(前年同期比9.7%増)と増収となったものの、円安で輸入品の仕入価格が上昇したことなどから営業利益は197百万円(前年同期比19.9%減)と減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は127,080百万円となり、前連結会計年度末比で1,165百万円の増加となりました。流動資産が全体で2,701百万円増加した一方で、固定資産が全体で1,536百万円減少したことによるものであります。

流動資産の増減は、短期貸付金が5,258百万円、現金及び預金が1,730百万円、それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が2,164百万円、棚卸資産が全体で1,292百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産の増減は、持分法適用会社への投資簿価の増加を主因として、投資その他の資産が全体で1,752百万円増加したものの、有形固定資産が全体で2,577百万円、無形固定資産が全体で710百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

負債は65,455百万円となり、前連結会計年度末比で5,451百万円の減少となりました。流動負債が全体で3,727百万円、固定負債が全体で1,723百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

流動負債の増減は、未払法人税等が1,138百万円増加したものの、その他の流動負債が2,669百万円、支払手形及び買掛金が2,176百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定負債の増減は、退職給付に係る負債が996百万円、長期借入金920百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産は61,624百万円となり、前連結会計年度末比で6,616百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が5,479百万円あることや、為替変動による影響を主因としてその他の包括利益が全体で1,983百万円増加したことなどによるものであります。

なお、上記の増減については、当第3四半期連結会計期間において、連結子会社であった美里工業株式会社および市光（無錫）汽車零部件有限公司の全株式及び出資持分の売却により、両社が連結子会社から除外された影響を含んでおります。

(百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月期)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)	増減
資産の部			
流動資産	63,280	65,982	2,701
固定資産			
有形固定資産	41,656	39,078	△2,577
無形固定資産	859	148	△710
投資その他の資産	20,118	21,870	1,752
固定資産合計	62,634	61,097	△1,536
資産合計	125,915	127,080	1,165
負債及び純資産の部			
流動負債	58,485	54,758	△3,727
固定負債	12,421	10,697	△1,723
負債合計	70,907	65,455	△5,451
純資産	55,007	61,624	6,616
負債純資産合計	125,915	127,080	1,165

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期の業績予想につきましては、伊勢原製造所の土地の一部の売却益を計上した影響などを勘案し、以下の通り修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	143,500	6,400	7,200	5,300	57.22
今回修正予想(B)	143,500	6,400	7,200	7,000	72.81
増減額(B-A)	0	0	0	1,700	
増減率(%)	0.0%	0.0%	0.0%	32.1%	
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	135,451	3,937	5,351	4,423	46.02

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報並びに合理的であると判断する一定の情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,631	10,362
受取手形及び売掛金	27,121	24,957
電子記録債権	388	208
商品及び製品	5,438	5,340
仕掛品	2,776	2,035
原材料及び貯蔵品	5,284	4,832
短期貸付金	10,841	16,100
その他	2,857	2,232
貸倒引当金	△60	△85
流動資産合計	63,280	65,982
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,332	11,071
機械装置及び運搬具（純額）	17,753	17,241
工具、器具及び備品（純額）	2,633	2,477
土地	2,788	2,499
リース資産（純額）	2,983	3,511
建設仮勘定	3,164	2,278
有形固定資産合計	41,656	39,078
無形固定資産		
その他	859	148
無形固定資産合計	859	148
投資その他の資産		
投資有価証券	2,268	3,036
長期貸付金	1,128	746
繰延税金資産	5,569	5,366
その他	11,155	12,723
貸倒引当金	△3	△2
投資その他の資産合計	20,118	21,870
固定資産合計	62,634	61,097
資産合計	125,915	127,080

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,982	34,806
短期借入金	1,400	1,450
1年内返済予定の長期借入金	2,022	920
リース債務	541	640
未払法人税等	453	1,591
未払費用	5,112	5,715
賞与引当金	1,113	1,449
役員賞与引当金	36	38
製品保証引当金	1,983	1,973
その他	8,840	6,170
流動負債合計	58,485	54,758
固定負債		
長期借入金	920	—
リース債務	2,892	3,434
繰延税金負債	153	—
退職給付に係る負債	8,182	7,186
資産除去債務	172	24
環境対策引当金	23	23
その他	76	27
固定負債合計	12,421	10,697
負債合計	70,907	65,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,986	8,996
資本剰余金	2,505	2,515
利益剰余金	44,660	49,177
自己株式	△55	△55
株主資本合計	56,096	60,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91	109
為替換算調整勘定	41	1,894
退職給付に係る調整累計額	△1,895	△1,783
その他の包括利益累計額合計	△1,762	220
非支配株主持分	673	768
純資産合計	55,007	61,624
負債純資産合計	125,915	127,080



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	98,457	110,239
売上原価	82,390	90,005
売上総利益	16,066	20,233
販売費及び一般管理費	13,523	15,268
営業利益	2,543	4,965
営業外収益		
受取利息	115	121
受取配当金	6	5
持分法による投資利益	1,084	575
その他	17	11
営業外収益合計	1,223	714
営業外費用		
支払利息	138	80
支払手数料	5	5
為替差損	351	362
その他	12	44
営業外費用合計	508	492
経常利益	3,258	5,187
特別利益		
固定資産処分益	0	3,971
特別利益合計	0	3,971
特別損失		
固定資産処分損	431	583
事業構造改善費用	258	300
減損損失	—	40
関係会社株式売却損	—	1,237
特別損失合計	690	2,162
税金等調整前四半期純利益	2,567	6,996
法人税等	287	1,461
四半期純利益	2,280	5,535
非支配株主に帰属する四半期純利益	65	56
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,214	5,479

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,280	5,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	18
為替換算調整勘定	987	835
退職給付に係る調整額	60	111
持分法適用会社に対する持分相当額	1,341	1,056
その他の包括利益合計	2,399	2,022
四半期包括利益	4,679	7,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,540	7,462
非支配株主に係る四半期包括利益	138	95

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品	用品	
売上高			
国内	65,956	4,787	70,744
海外	27,175	537	27,713
顧客との契約から生じる収益	93,131	5,325	98,457
その他収益	—	—	—
外部顧客への売上高	93,131	5,325	98,457
セグメント間の内部売上高又は振替高	41	1,101	1,142
計	93,173	6,426	99,600
セグメント利益	2,292	246	2,539

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,539
セグメント間取引消去	3
四半期連結損益計算書の営業利益	2,543

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品	用品	
売上高			
国内	74,344	5,202	79,546
海外	30,100	592	30,692
顧客との契約から生じる収益	104,444	5,794	110,239
その他収益	—	—	—
外部顧客への売上高	104,444	5,794	110,239
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	1,257	1,275
計	104,463	7,051	111,515
セグメント利益	4,767	197	4,964

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第3四半期連結会計期間において、「自動車部品事業」を構成していたミラー事業を譲渡したことにより、前連結会計年度の末日に比べ「自動車部品事業」のセグメント資産が13,195百万円減少しております。

## 3. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,964
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の営業利益	4,965

## (企業結合等関係)

## 子会社株式の譲渡

## 1. 株式譲渡の概要

## ① 譲渡する子会社の名称及び事業の内容

名称 美里工業株式会社

事業内容 自動車用ミラーの設計、開発、製造及び販売に関する事業等

## ② 譲渡先の名称

SMR Automotive Mirrors UK Limited

## ③ 株式譲渡の理由

当社グループは、残るライティング事業等への選択と集中を進め、限られた経営資源を重点配分していくことで、更に強い競争力を確保できると判断したことから、本件譲渡を決定いたしました。

## ④ 株式譲渡日

2023年8月1日

## ⑤ その他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

## 2. 実施した会計処理の概要

## ① 譲渡損益の金額

関係会社株式売却損 1,237百万円

## ② 譲渡した子会社に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	8,968百万円
固定資産	<u>4,227百万円</u>
資産合計	13,195百万円
流動負債	6,922百万円
固定負債	<u>1,220百万円</u>
負債合計	8,143百万円

## ③ 会計処理

当該譲渡株式の連結上の帳簿価額と売却価額との差額を「関係会社株式売却損」として特別損失に計上しています。なお、株式譲渡価額については、当該株式譲渡契約において価格調整条項が付されているため、上記金額は暫定の金額であります。今後、価格の調整が見込まれるため、最終的な株式譲渡価額は変動する予定であります。

## 3. 株式譲渡した事業が含まれていた報告セグメントの名称

自動車部品事業

## 4. 四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に計上されている譲渡した子会社に係る損益の概算額

売上高	11,237百万円
営業損失	247百万円

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。